



「日本は木の文化」と言われていたが今は？

太古の昔から、雨露を避ける為、竪穴住居や高床住居など建物には木を使ってきた。また、生活の中で、経験から樹種の特性を知り、使い方を工夫してきた。例えば、杉は船材(飢肥杉は弁甲材)、桧は神社・仏閣、樺は仏像・柱材(御楼門)、楠は宝物、榎は棺桶…等。また、集落ごとに鎮守の森や里山があり、防風・防砂林、治水や燃料採取地として共同管理してきた。当然日用品にも木材は数多く使われていました。更に、建築物としては吉野ケ里や三内丸山の住居跡が有名ですが、出雲大社には 48mの巨大神殿もあったそうです。法隆寺や東大寺なども日本建築の素晴らしさを残していますが、それ以上の巨大建築物があったという事です。日本の木造建築は軒の出が大きく日本の風土に合わせ、木の耐久性を確保する工夫がされていたのですね。木の文化と言われる所以でしょう。ところで最近の建築を見ると、建築基準法で構造計算され、断熱性能や部材強度を測定したりして建てられますが、地震や台風などの自然災害に対して、後追いの対策は多く、だんだんと昔の知恵が無くなるように感じているのは私だけでしょうか？ 「木の文化」と言われた知恵を生かす工夫も欲しいですね

【情報】

鹿児島木材産業協同組合事務所新築見学会が行われます！

認証かごしま材の集成材を使った構造です。

日時 令和8年3月6日(金)13:30～

場所 東開町4-17

申込 県木造住宅推進協非会事務局 (099-224-4543) 3/3 迄。先着 50 名です

千本桜の森整備活動が行われます！

指宿スカイライン颯娃インター近くの(株)肥後産業の社有林で桜の植樹活動を行います。昨年 1000 本の目標は達成しましたが、5 年目の今年は補植を行います。桜は森と木の研究所が推進している「花咲じじいプロジェクト」で育てたヤマザクラとソメイヨシノを各 100 本植えます

日時 令和8年3月1日(日)10:00～12:00

場所 颯娃インター近く、肥後産業所有林

令和7年度鹿児島県森林・林業振興大会で表彰されました！

去る令和8年2月10日行われた森林・林業振興大会で「森と木の研究所」が功労者として表彰され、当研究所の15年間に及ぶ活動が認められました。

【定休日】

3 月は 1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28, 29 日

4 月は 4, 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26 日となります

宜しく申し上げます



森林・林業振興大会で表彰状を囲んで

(お問い合わせは、吉崎まで)